

《成果①》
新規性・新たな知見

日本国際問題研究所

2021年度総合事業C：国際秩序変容期の競争と連携—
グローバルガバナンス再構築に向けた日本外交への提言

JIA

経済・安全保障リンケージ研究会

経済安全保障推進法（仮称）に関する議論の動向等を踏まえつつ、半導体サプライチェーン、GATT安全保障例外、人の移動、サイバー、国際機関への加盟／脱退、輸出管理に関する問題を取りあげ、当初想定していた以上に安全保障と経済は強く結びついていることが明らかとなった。安全保障上の理由による輸出管理や対内直接投資規制、サイバーやインフラセキュリティ、国際通商法と安全保障の関係性など、経済・安全保障の両面にまたがる課題の所在を浮き彫りにした。

地球規模課題研究会

気候変動、防災、SDGs、デジタル、グローバルヘルス、平和構築の分野での相互連関を明示的に示しつつ、グローバルガバナンスと日本の貢献を取り上げた。課題解決のためには国家、地方自治体、民間企業、市民等の様々なアクターが関わることが不可欠であり、SDGsを指針とした日本企業の取組み、気候変動適応策における住民参加の役割、自律分散型の社会貢献を可能にするデジタル技術の可能性といった視点が示された。

成果を集約し、展望と日本外交への提言を含む『戦略年次報告』を発表

《成果②》
シンクタンク・有識者
との連携（発信を含む）

日本国際問題研究所

2021年度総合事業C：国際秩序変容期の競争と連携—
グローバルガバナンス再構築に向けた日本外交への提言



ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)
に関する共同ウェビナー開催（4/13）



防災に関する共同ウェビナー開催
（10/25）



TGD3
激化する米中競争（1）：価値と技術
（3/3より）



「経済・安全保障リンケージ研究会」
C. Davisハーバード大学教授

国連広報センターと外務省との共
催による公開ウェビナー：
国連、政界、政府、経済界、援助機関、
被援助国、地方自治体などの幅広いス
テークホルダーを代表する登壇者によ
り、国連の役割と日本の貢献をわかり
やすい形で内外に発信。

第三回東京グローバル・ダイアログ（TGD3）の開催：
米中対立の技術分野への影響と国際社会の対応、気候変動、コロナ禍の経済的
影響、ウクライナ情勢を受けたエネルギー情勢について議論

世界トップレベルの有
識者を招聘しての研究
会開催

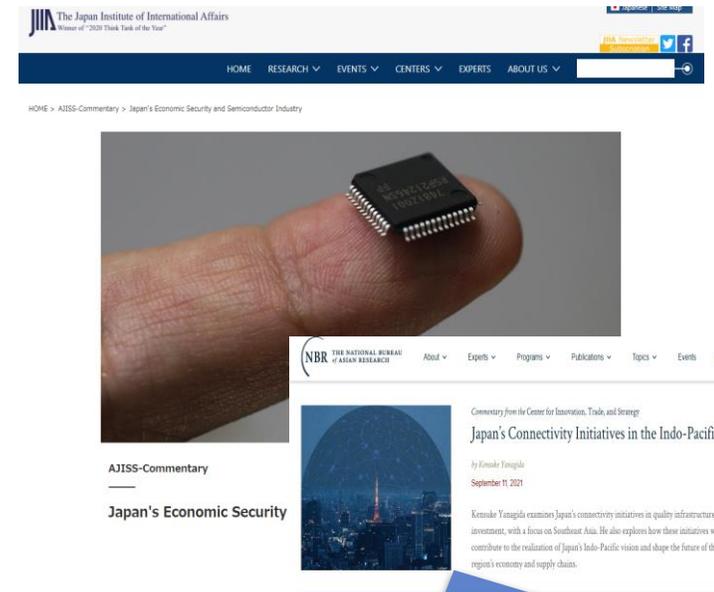
アジアの主要シンクタンクとの意見交換
を通じたネットワークの
継続・強化

駐日大使館等からの各種照会・情報提供
依頼への対応を通じた貢献等

海外主要シンクタンク・有識者との活発な意見交換・ウェビナー開催により
グローバルな知的ネットワークの構築と対外発信

《成果③》
内外への積極的発信

日本国際問題研究所
2021年度総合事業C：国際秩序変容期の競争と連携—
グローバルガバナンス再構築に向けた日本外交への提言



「研究レポート」
経済安全保障と地球規模課題に関する分析を日英両言語で計23本発信

「国問研戦略コメント」
経済安全保障政策の観点から半導体サプライチェーンに関する論考をタイムリーに発信

研究報告
「『経済・安全保障リンケージ研究会』中間報告書」
国際開発援助や経済制裁に関する政策提言を含む

英語による発信

- AJISS-Commentary 「Supply Chains Survived COVID-19」(2021年12月)、「Japan's Economic Security and Semiconductor Industry」(2022年2月)発信
- 米国、台湾、インドのシンクタンクが主催するセミナー・シンポジウムへの登壇
- 英語記事の寄稿

専門性の高い最新情勢の分析・政策提言を日英両言語で分かりやすく発信